



図書館だより



1学期も終わり、いよいよ夏休みですね！3年生は進学や就職準備で忙しくなりますが、夏休み中でも図書館は開館していますので、ぜひ利用してください。尚、開館時間等は、掲示などでお知らせします。

又、1、2年生には、読書感想文用の本のコーナーを開設しましたので、課題図書も含め自分に合った本を選んでください！課題図書は、各一冊ずつになりますので、貸出はお早めに！

お薦めの新刊本



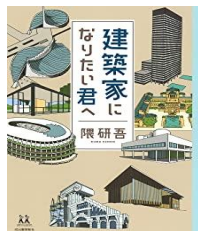
メタバース進化論 バーチャル美少女ねむ

最近のニュース、書籍などでよく耳にする「メタバース」。昨年には Facebook が、社名を「Meta」に変更し、新しいネットの姿である「メタバース」事業を推進することを発表したことは、記憶に新しい事だと思います。彼らは10年の間に10億人が利用、そして数千億ドルの取引が行われることを目標にするという。

本書は、現在のメタバースの現実の姿、そして未来への可能性を伝え、そこに付随する問題点を取り上げています。実際に、メタバースに生きる原住民ならではのリアリティ溢れる内容を、データの裏付けと共に書かれているのでとても分かりやすい！コミュニケーションから経済まで必要な世界になりつつある未来を見据え、まずは地に足のついた解説書である本書を読んでみてはいかがでしょうか。

建築家になりたい君へ

課題図書



国内外で多数のプロジェクトを手掛ける日本を代表する建築家である「隈研吾氏」が送るメッセージ。国立競技場を建築した筆者が、それまでどのような生き方をし、何を学んできたのか。又建築家とはどんなものなのか、わかりやすく書かれています。建築に興味のある人はぜひ読んでみてください！「隈研吾著」

クジラの骨と僕らの未来



小さな頃から生き物が大好きだった少年は、様々な動物と向き合い、ついに哺乳類最大のクジラの研究者に！骨からスタートしたクジラ博士の研究航海記です。好奇心を持つことで世界が広がり、自身が進むべき道が自然と開けていくさまは感動さえ覚え、引き込まれます。生き物が好きな人や将来研究者を目指したい人には特にお薦めですよ！

「中村玄著」

その扉をたたく音



ミュージシャンの夢を捨てきれないまま、怠惰な日々を送っていた宮路は、ある日利用者向けの余興に訪れた老人ホームで演奏されたサックスの音に心を奪われる。その演奏の主は介護士の渡部という男。彼を「神」と慕いサックスを聴くためにホーム「そよかぜ荘」に通い詰めるようになるり、やがて高齢者たちとの交流を経てお互いがかけがえのない存在になっていく…。筆者の作品らしいとても温かい感動の物語、感想文には特にお薦めです！

「瀬尾まいこ著」